

科目区分	専門分野			科目番号	0611	曜日時間	不定期
授業科目	臨床判断Ⅰ						
単位数	1 単位	時間	16 時間	開講時期	1年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員	吉元 恵美子						
授業目的	健康上の問題を持つ対象への必要な援助を判断し、状況に応じた援助を実践できる方法を学ぶ。						
中 核	対象の状況に応じた看護技術						
授業目標	対象の状況に気づき、必要な援助を導き出すことができる。						
授業の内容と方法	回	授業内容		授業方法	時間	担当	講義終了後、リフレクションノート提出
	1	臨床推論と看護過程の違い		講義	2	吉元 恵美子	
	2	看護師の思考を迫体験する 分析的な推論 気づく・解釈する・反応する・省察する		講義	2		
	3				2		
	4	看護師の思考を迫体験する ナラティブな推論 その人らしさ・QOLを目指す援助		講義	2		
	5	事例を通した推論の可視化		演習 (必修)	2		
	6	OSCE 客観的臨床能力試験 患者の状況に応じた援助技術の実践 知識・技術・態度の統合		演習 (必修)	2		
	7				2		
	8	振り返り 看護を展開する技術とは		講義	2		
終了後課題	リフレクションシート						
評価計画方法	リフレクションノート及びレポート50%, OSCE (技術試験) 50%						
テキスト参考図書	茂野香おる著：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ第17版, 医学書院 任 和子著：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅰ第17版, 医学書院						
実務歴有	看護師：病院勤務17年 看護教員：学校勤務 1年						
講義への反映	病院での実務経験を活かし、看護師がどのように思考し、判断していくかについて臨床判断モデルを活用しながら、学生がより看護師らしい思考の型を身につけることが出来るよう講義を展開する。						
備考	「気づき」「解釈」「反応」「省察」のプロセスと看護の視点を学びます。 準備：ポートフォリオ用ファイル、リフレクションノート						